

## 12月18日朝会の校長の話(概要)

今日はみなさんが楽しく学校生活を送ることができるようにするための話をします。誰かを叩いたり、蹴ったりして、その相手に痛い思いや怪我をさせたりすることを暴力といいます。悪口や相手が嫌がることを言って、相手の心を傷つけることも、言葉の暴力になります。これは、友達同士でやってもいけないし、大人同士も、大人が子供に対しても、誰もがやってはいけないことです。他にも一学期に話したように体の大事なところを触ろうとすることもダメです。もし、学校の中で、大人から暴力を受けたり、嫌なことを言われたりしたときは、校長先生や話しても良いと思う他の先生に相談してください。今週、みなさんに、お手紙を配ります。もし、学校で大人から、注意されるときに、叩かれたり、心が傷つくような嫌なことを言われたりすることがあったら、書いてください。この紙に書いたら、用紙を封筒に入れて封をして出してください。中身を開けて見るのは校長先生か副校長先生だけです。だから安心して書いてください。どうしても学校で書きたくない場合は、お家に持ちかえって、書いても構いません。この用紙に書きたくないことは、お家の人に相談したり、この用紙と一緒に配る手紙(「一人で悩まず、相談しよう」)にかいてある電話番号に連絡したりしてください。また、この紙を書いた後でも、傷つくようなことをされることがあったら、いつでも校長先生や話せる先生、SC、お家の人に相談してください。校長先生も先生たちも、皆さんのことを大事に思っています。ぜひ一人で悩まずに、いつでも相談してください。